

平成22年2月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月13日

上場会社名 株式会社 ライフコーポレーション

上場取引所 東 大

コード番号 8194 URL <http://www.lifecorp.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 清水信次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経本部長

(氏名) 久保光弘

TEL 03-3979-7160

四半期報告書提出予定日 平成21年10月15日

配当支払開始予定日

平成21年10月26日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第2四半期の業績(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	235,745	—	4,324	—	4,145	—	2,329	—
21年2月期第2四半期	230,163	6.1	5,562	15.4	5,399	18.6	2,887	25.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第2四半期	45.27	—
21年2月期第2四半期	56.11	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第2四半期	161,717	43,347	26.8	842.19
21年2月期	165,584	41,110	24.8	798.72

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 43,347百万円 21年2月期 41,110百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年2月期	—	10.00	—	—	—
22年2月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	474,000	2.4	8,700	△23.8	8,300	△25.0	4,000	△26.6	77.72

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第2四半期	53,450,800株	21年2月期	53,450,800株
② 期末自己株式数	22年2月期第2四半期	1,981,412株	21年2月期	1,980,673株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年2月期第2四半期	1,981,208株	21年2月期第2四半期	1,977,825株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年4月14日に公表いたしました通期の業績予想を本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
3. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。なお、四半期財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第6条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、1～3月の戦後最低のマイナス成長のあと4～6月にはプラス成長へと転換しましたが、これは各国政府協調による巨大な財政支出に拠るところが大きく、自立回復にはいまだ遠い状態にあり、生産も依然として昨年比8割の水準にあるなど厳しい状況が続いております。

流通業界においても個人消費は、4～6月期プラスに転じたものの減税や補助金政策に支えられたものであり効果は一部の自動車、家電等の業界に限定されており、その他生活関連業界においては、依然として厳しい雇用環境の下、生活防衛意識のますますの高まりから消費はさらに減退し、業界は低価格競争に走るなど凄惨を極めております。

こうした厳しい経営環境の下、当社は、更なる競争力の強化と生産性の向上を図るべく、昨年度よりスタートした「第三次中期3カ年計画」の「12の課題」に引き続き取り組むとともに、特に当期においては、気持ちの良い接客、清潔な売場、安心してご購入求めいただける商品の提供等スーパーマーケットとしての「基本事項の徹底」により、総合力で差別化を図るべく、お客様に信頼していただけるお店づくりに注力いたしております。

なお、新たな取組として、本年6月薬事法改正に伴う医薬品の登録販売者制度の導入を受けて、お客様の健康志向に対応するため、登録販売者による医薬品販売を東京都、大阪府の店舗を中心に推進拡大しております。

新規店舗としては、4月に大谷田店（東京都）、5月に太平寺店（大阪府）、6月に三津屋店（大阪府）、7月に吉祥寺駅南店（東京都）、なんば店（大阪府）の5店舗を出店いたしました。

業績につきましては、既存店において各取組の相乗効果により客数は前年同期比101.0%と増加したものの、生活防衛意識の高まりや競合激化により販売単価が下落し売上高は若干の減少となりましたが、新店の寄与により総売上高は2,296億90百万円と前年同期比2.4%増収となりました。一方利益面につきましては、既存店売上高減の主因となった競合激化等により粗利益率が圧迫され、営業利益は43億24百万円、経常利益は41億45百万円、四半期純利益は23億29百万円となりました。

【営業収益の状況】

		当第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	
区分		売上高 (百万円)	構成比率 (%)
商 品 売 上 高	生 鮮 食 品	88,994	37.7
	一 般 食 品	98,678	41.9
	生 活 関 連 用 品	21,238	9.0
	衣 料 品	15,245	6.5
	テ ナ シ ョ ン ト	5,534	2.3
高	小 計	229,690	97.4
営	業 収 入	6,054	2.6
営	業 収 益	235,745	100.0

(注) 第1四半期会計期間より、惣菜の売上高を一般食品から生鮮食品に区分変更を行いました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、1,617億17百万円と前事業年度末に比べ38億66百万円減少いたしました。

流動資産は、399億96百万円と前事業年度末に比べ50億72百万円減少いたしました。これは主として前事業年度末日が金融機関の休日のため、支払が保留となった仕入等の債務が当第2四半期累計期間に決済されたことなどにより、現金及び預金と譲渡性預金に係る有価証券の合計が前事業年度末に比べ42億80百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、1,217億21百万円と前事業年度末に比べ12億5百万円増加いたしました。これは主として5店舗の新設などにより有形固定資産が減価償却後、前事業年度末に比べ11億37百万円、ソフトウェアの計上に伴い無形固定資産が前事業年度末に比べ2億68百万円増加し一方、差入保証金の約定返還等により、投資その他の資産が前事業年度末に比べ1億99百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は、1,183億70百万円と前事業年度末に比べ61億3百万円減少いたしました。これは主として前事業年度末日が金融機関の休日のため、支払が保留となった仕入等の債務が当第2四半期累計期間に決済されたことなどにより、買掛金が147億83百万円、未払金（流動負債のその他）が30億61百万円減少し一方、短期借入金及び長期借入金の合計が94億51百万円、リース債務（固定負債のその他）が17億80百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、433億47百万円と前事業年度末に比べ22億36百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が増加したことによるものであります。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、135億55百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は、93億31百万円となりました。これは主として税引前四半期純利益が41億64百万円あったものの、前事業年度末日が金融機関の休日のため、支払が保留となった仕入等の債務が当第2四半期累計期間に決済されたことなどにより、仕入債務の減少が147億87百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、55億80百万円となりました。これは主として新規店舗及び既存店舗の改装による支出が47億65百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果得られた資金は、107億28百万円となりました。これは主として長期借入金の返済による支出が52億99百万円及び配当金の支払額が5億14百万円あったものの、短期借入金の純増加額及び長期借入れによる収入の合計が147億50百万円、セール・アンド・リースバック取引による収入が20億円あったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

雇用環境の悪化、個人消費の減退、低価格競争による競合の激化等引き続き厳しい環境が予測され、収益性の悪化が見込まれることから、平成22年2月期の通期見通しを次のとおり修正しております。

営業収益は期初予想比1.0%減の4,740億円、営業利益は15.5%減の87億円、経常利益は17.0%減の83億円、当期純利益は20.0%減の40億円となります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

なお、第1四半期会計期間(平成21年3月1日から平成21年5月31日まで)から、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第6条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として売価還元法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)が適用されたことに伴い、主として売価還元法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この変更により、当期期首時点で保有していたたな卸資産に係る簿価切下げ額38百万円を特別損失として計上しております。なお、前事業年度と同一の方法によった場合と比較して、当第2四半期累計期間の営業利益および経常利益が34百万円増加し、税引前四半期純利益が4百万円減少しております。

③「リース取引に関する会計基準」の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が適用することができることになったことに伴い、第1四半期会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,555	11,299
売掛金	1,742	1,688
有価証券	201	6,738
商品	15,301	15,956
貯蔵品	53	41
その他	9,144	9,347
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	39,996	45,068
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	38,950	38,791
土地	24,102	24,102
その他(純額)	11,700	10,722
有形固定資産合計	74,753	73,616
無形固定資産	2,992	2,724
投資その他の資産		
差入保証金	33,466	34,834
その他	10,508	9,465
貸倒引当金	—	△125
投資その他の資産合計	43,975	44,174
固定資産合計	121,721	120,515
資産合計	161,717	165,584
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,195	44,983
短期借入金	22,450	19,910
1年内返済予定の長期借入金	9,605	9,530
未払法人税等	1,932	2,503
賞与引当金	2,054	1,848
販売促進引当金	1,519	1,361
その他	10,349	12,728
流動負債合計	78,107	92,866
固定負債		
長期借入金	29,245	22,409
退職給付引当金	3,862	3,751
役員退職慰労引当金	332	325
その他	6,822	5,121
固定負債合計	40,263	31,607
負債合計	118,370	124,473

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	12,003	12,003
利益剰余金	24,023	22,208
自己株式	△3,341	△3,340
株主資本合計	42,689	40,875
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	401	△21
土地再評価差額金	255	255
評価・換算差額等合計	657	234
純資産合計	43,347	41,110
負債純資産合計	161,717	165,584

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)
売上高	229,690
売上原価	170,106
売上総利益	59,584
営業収入	6,054
営業総利益	65,638
販売費及び一般管理費	
給料手当及び賞与	22,904
賞与引当金繰入額	2,054
退職給付引当金繰入額	575
役員退職慰労引当金繰入額	9
その他	35,769
販売費及び一般管理費合計	61,314
営業利益	4,324
営業外収益	
受取利息	171
受取配当金	12
その他	147
営業外収益合計	331
営業外費用	
支払利息	483
その他	27
営業外費用合計	510
経常利益	4,145
特別利益	
貸倒引当金戻入額	101
特別利益合計	101
特別損失	
たな卸資産評価損	38
固定資産除却損	23
店舗閉鎖損失	17
その他	2
特別損失合計	81
税引前四半期純利益	4,164
法人税、住民税及び事業税	1,739
法人税等調整額	95
法人税等合計	1,835
四半期純利益	2,329

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	4,164
減価償却費	3,105
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△125
賞与引当金の増減額 (△は減少)	206
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	157
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	111
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7
受取利息及び受取配当金	△184
支払利息	483
固定資産除却損	23
たな卸資産の増減額 (△は増加)	643
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14,787
未払金の増減額 (△は減少)	△2,091
その他	1,550
小計	△6,737
利息及び配当金の受取額	170
利息の支払額	△461
法人税等の支払額	△2,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,331
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△100
定期預金の払戻による収入	100
有価証券の償還による収入	161
有形固定資産の取得による支出	△4,765
無形固定資産の取得による支出	△551
投資有価証券の取得による支出	△37
貸付けによる支出	△603
貸付金の回収による収入	7
差入保証金の差入による支出	△488
差入保証金の回収による収入	794
その他	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,580
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,540
長期借入れによる収入	12,210
長期借入金の返済による支出	△5,299
リース債務の返済による支出	△206
配当金の支払額	△514
自己株式の取得による支出	△1
セール・アンド・リースバック取引による収入	2,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,728
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,183
現金及び現金同等物の期首残高	17,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,555

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

なお、第1四半期会計期間(平成21年3月1日から平成21年5月31日まで)から、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第6条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	224,333	100.0
II 売上原価	165,567	73.8
売上総利益	58,765	26.2
III 営業収入	5,830	2.6
営業総利益	64,595	28.8
IV 販売費及び一般管理費	59,033	26.3
営業利益	5,562	2.5
V 営業外収益	452	0.2
VI 営業外費用	614	0.3
経常利益	5,399	2.4
VII 特別利益	2	0.0
VIII 特別損失	313	0.1
税引前中間純利益	5,088	2.3
法人税、住民税及び事業税	2,122	
法人税等調整額	77	2,200
中間純利益		2,887
		1.3

(2) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	5,088
減価償却費	2,916
減損損失	49
賞与引当金の増減額(減少額:△)	132
販売促進引当金の増減額(減少額:△)	126
退職給付引当金の増減額(減少額:△)	22
役員退職慰労引当金の増減額(減少額:△)	12
受取利息及び受取配当金	△240
支払利息	579
投資有価証券売却益	△2
店舗等閉鎖損	57
固定資産除却損	57
たな卸資産の増減額(増加額:△)	1,249
仕入債務の増減額(減少額:△)	21,154
未払金の増減額(減少額:△)	2,304
その他	2,276
小計	35,784
利息及び配当金の受取額	200
利息の支払額	△517
法人税等の支払額	△2,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,921

	前中間会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
区分	金額(百万円)
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△100
定期預金の払戻による収入	100
有形固定資産の取得による支出	△6,134
無形固定資産の取得による支出	△393
投資有価証券の売却による収入	3
貸付けによる支出	△128
貸付金の回収による収入	18
差入保証金の支払による支出	△404
差入保証金の回収による収入	282
その他	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,728
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少額: △)	△2,200
長期借入れによる収入	4,800
長期借入金の返済による支出	△5,233
配当金の支払額	△514
自己株式の取得による支出	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,148
Ⅳ 現金及び現金同等物の増加額(減少 額:△)	23,044
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	12,145
Ⅵ 現金及び現金同等物の中間期末残高	35,189